

発行NPO法人 うえるかむ権利擁護サポートセンター船橋

うえるかむ通信

〒273-0046 船橋市上山町1-157-4 (カメラハウス2階) 発行責任者 赤津 保子
船橋法典駅下車徒歩8分 TEL047-710-7045 / IP 050-3496-9981 / fax047-419-2655
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/watowawelcome/Email> ; qqxt3s29n@canvas.ocn.ne.jp
ホームページ <http://welcome-funabashi.org/>



《障害者110番事業研修会に 参加して》

ご寄稿

船橋市知的障害者相談員

後藤 忠男

会場の衆議院第二議員会館は国会議事堂の直ぐ裏にある。多くの警備員、警察官が物々しく立ち並んでいて、次々とくる来訪者で賑わっている。

多目的会議室には、1時間ほど早く着いたのだが、もう既に30人位着席していた。

全盲の弁護士の大胡田誠氏は、「障害理解の牽引者への期待」と題して、相談、対話についての術を熱心に講じられた。

傾聴する姿勢の大切さとして

- ① 「相手を必ず視界に入れて話を聴く」
- ② 「相手の話を遮らない」
- ③ 「時々、相手の話を要約してあげる」
- ④ 「相手を批難しない」

など、具体的に話された。

午後からのグループ討議、意見交流は8テーブルに分かれて意見交換。北海道から沖縄まで、全国よりの参加で意見も様々。24時間受付しているところもあったり、土曜日でも受付しているところもあった。相談員の資質としては、資格より人柄重視の意見がおおむねの考え方であった。

午後4時までの5時間の研修は有意義であり、楽しかった。

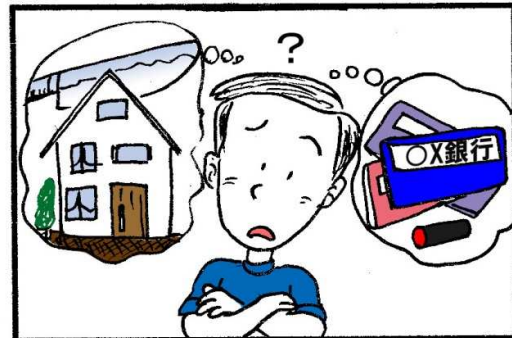
平成30年8月3日



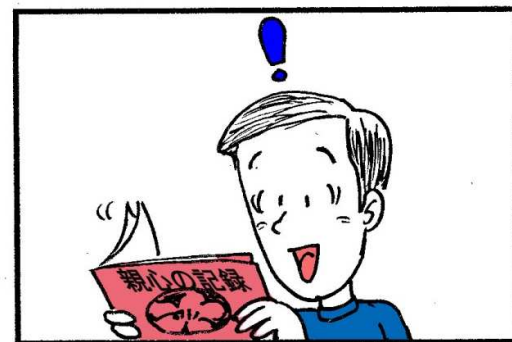
権利擁護漫画うえるちゃん
NO.45 「父、遺言書を書く」
原案、赤津&原画、武藤



① ウエルちゃんのお父さんが医師から病名を告げられました。



② 自分かもしもの場合、財産をどのように分けてもらうか? お父さんは悩んでいます。



③ 冷蔵庫の脇にある親心の記録を見て「遺言書」を思いつきました。

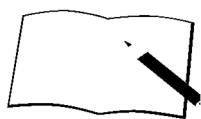


④ 机に向かって遺言書を書く、ウエルちゃんのお父さん。印鑑を忘れずにね!

[成年後見制度と遺言書] 来年3月に予定

他市で行われたある集会に参加したところ、70歳くらいのお父さんから「やっぱり後見は付けないといけないのかね？お金(後見報酬)を払うんでしょ。どのくらい払うの。」というご質問。

ご本人の資産が対象であること、相続が発生しなければご家族の資産はカウントされないこと、300万円くらいの預貯金があれば、月に2万円くらいと言われていますとお話ししました。そのお父さんや周りのお母さん方からも「とても払えない！」という悲鳴が。この不安はどう解決できるのでしょうか。



来年3月の勉強会に来て下さいね

障害者本人はまだ若い。これから何年、払わなければならないのだろうという不安は当然です。

でも、親が高齢になったり、亡き後、親に代わって見守ってくれる“人”、信頼できる人はやはり必要です。きょうだいや親族なども良いと思います。ぜひとも理解と信頼関係を築いておいてください。

障害の方の家族構成や実状にあわせて考える必要もあります。友人知人、親の会などで話し合ったり、相談機関に問い合わせたり、成年後見制度の講座などに足を運んでいただくと良いのではないのでしょうか。そのようなご相談も「うえるかむ」でお受けします。

また、遺言書も書いておくと安心です。どのように書けば役に立つのかという疑問も耳にします。

そこで、3月には「成年後見制度と遺言書」というテーマで、勉強会を予定しています。

講師 岩田康孝弁護士

日程が決まりましたらお知らせします

ホームページ

<http://welcome-funabashi.org/>

- ・ホームページから「親心の記録」をダウンロードしてご利用頂けます
- ・[ブログとメールアドレスは通信のトップをご覧ください。047-710-7045 不在のときは090-1217-3003 (赤津携帯)へ転送されます。



笑顔のサプリメント

大阪なおみ選手、快挙！

テニスの4大会、全米オープン、女子シングルで**大阪なおみさん**が優勝を果たした。ニューヨークでのこの試合、数多く優勝しているセリーナ選手に期待が寄せられ、いわばアウェイともいえる雰囲気、セリーナ選手と審判とのトラブルも影響して場内はブーイングの嵐。しかし、結果は冷静な**なおみさん**の勝利。

セリーナ選手は**なおみさん**と抱き合い、「おめでとう！みんなもブーイングはやめて」と呼びかけると、**なおみさん**は「誰もが、セリーナ選手を応援していることは知っています。こんな終わり方ですみません。試合を見に来てくださってありがとうございます」とコメント。会場の空気が一変したとのこと。「小さい頃からの夢、あこがれだったセリーナ選手とプレーできて良かった」と。勝っても奢らず、謙虚な**なおみさん**の姿が眩しく見えた。

辛いニュースやスポーツ界での不祥事の報道が多いこの頃、ようやく“笑顔のサプリ”が私たちに届きました。



編集後記

台風と大きな地震で混乱のまま、9月も半ばになりました。被害に遭われた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

家屋損壊等の被害者の皆様には心身のご健康と生活の復旧を心から願っています。

この夏は台風が次々と発生しました。有名な川が氾濫して大きな被害が出ました。テレビの映像は、想定外の景色を映し出しています。北海道では、震度7の大地震。昔の言葉で、山津波といわれる土砂崩れに巻き込まれた家々には、ほんのさつきまで平和な日常があったでしょうに…。

いつも考えるのは、その過酷な景色の中に息子がいることがあるのだろうか？です。想像もできません。穏やかな日々を願うばかりです。

(赤津)